



月光原小学校の研究発表会について



本校では、研究主題を『**自立した学習者の育成～「個別最適な学び」の充実を目指した指導の在り方～**』とし、研究を進めています。自立した学習者とは、「自己調整力がある児童」(自ら問いを見付け、試行錯誤しながら解決に向けて挑む力があること)・「自己肯定感が高い児童」(周りの人の良さを認めながら、自分の良さに気付くこと)と捉え、一人一人の自己調整力・自己肯定感を高めるための取組を行っています。

研究発表会では、1単位時間を40分1コマとしたことにより「生み出した時間」を活用し、「学校の特色ある教育活動の時間」と「教育の質向上のための教員の時間」として、令和6年度から積み重ねてきた次の3つの取組について発表したいと考えています。

個の資質・能力を育てる **授業改善**(複線型を取り入れた授業づくり)

授業づくりのスタートである単元(題材)の目標をしっかりと理解し、様々な学習過程がある中から、“子ども一人一人が自分らしさ”をもより生かして学習を進められるよう、複線化を取り入れた学習過程を計画し授業を行います。また、自己調整のサイクル(予見→遂行→内省→予見→…)を意識し、学習過程のそれぞれの場面で子どもたちの自己調整力が高まるように手立ての工夫を行います。当日の授業だけではなく、学習過程の工夫を指導案上でもご覧いただきたいです。

子どもの学校生活を豊かにする **マイ光プラン**(自己選択学習)の充実

月光原小学校の自己選択学習は、『マイ光プラン』と呼んでいます。生み出した時間の中から、火曜日の午後60分間を『マイ光プラン』としています。子どもたち一人一人が“やりたいこと”に取り組む時間です。この時間を活用することによって、「自己調整力を身に付けること」「自己肯定感を高めること」を目的としています。

研究発表会の当日は、子どもたちの様子を動画や写真でご紹介したいと思っています。

子どもの育ちをつなぐ **幼児教育との接続**

げっこうはらこども園と連携し円滑な接続の上で子どもたちを育てていけるよう、昨年度からこども園教員と1・2年担任、管理職で構成する開発会議を行い、「架け橋プログラム」と「スタートカリキュラム」を作成しました。

研究発表会当日の1年生の指導案については、“幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿”を指導案上に記載したり、幼児期の遊びを通した学びがどのようなつながっているのかを示したりしています。

また当日は、げっこうはらこども園の公開保育も行います。1年生の授業と合わせてこれまでの連携の成果を参観いただければと思います。